

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

### 8. 会議の経過

令和7年12月11日（木）午後4時02分開議

○委員長（甲斐俊光君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

お手元に配付の資料をご覧ください。追加議案について説明をお願いいたします。

○市長（星野順一郎君） 貴重なお時間ありがとうございます。

まずその前に、一つご報告を入れさせていただきます。ご心配いただいていたNECグリーンロケッツですけれども、引受先がJR東日本に決まりました。

JRに聞くと今の柏の葉ホームスタジアムは変えずに、今天王台、NECのところにあるやつは、そのまま、JRに貸すという前提になっていて、今まで通りの運営がされるものと思われま

す。ただJR東日本には、ラグビーチームがあるんだそうです。JR東日本レールウェイズというのがあるんで、チーム名が変わる可能性はありますけれど、少なくとも天王台に、グリーンロケッツが、チーム名がどうなるか分かりませんが、レールウェイズと一緒にするつもりで、リーグワ

ンに残るだろうということと、それとあとご存じのように、JR東日本の野球部の練習場は、柏と我孫子の境にありますけれど、最寄り駅は我孫子駅ですので、これからもJRと一緒にしながら

野球もラグビーも応援していければなというふうに思っております。詳しくはホームページにも載っていますので、そこでチェックしていただければと思います。

さて、本題に入ります。定例会の最終日に、急遽、追加の補正予算案を上程する見込みとなりましたのでご報告させていただきます。

中身としては、今国会でもやっています、重点支援地方交付金を活用した事業の実施、及び、物価高対応子育て応援手当支給事業についてです。

まず1点目、重点支援地方交付金を活用した事業の実施については、まだこれ、国会が可決してないものですから、まず前提として、ご理解をいただきたいのが、粗々になってしまう可能性が高いということです。

一応、予定としては、12月17日に可決される見込みの国の補正予算によって、重点支援地方交付金として我孫子市には約8億円が交付される見通しとなりました。そのうちの4億円については、食料品の物価高騰に対する特別加算分として交付されるものであって、国としては1人当たり3,000円の給付を想定をしています。

市としては早急に市民の皆さんに交付したいと考えていて、市民一人について、おこめ券7枚、おこめ券は一枚500円で買って、実際に換金できる、商品券として使えるのは440円ということになりますので、3,000円にするためには、7枚を配付をしたい。7枚だと市民の皆さんが一人当たり3,080円分の、いわゆる商品券に近いようなかたちとなります。

事業費については、事務費を含めた総額で、約5億6,000万円となります。

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

交付時期については、おこめ券の発行状況によって変更する可能性はあるものの、これが一番早くて、来年の2月に配布できる予定としています。

このおこめ券については、いろいろと各市町村でも、意見が分かれているところでもありますけれども、一番早くやろうとするとおこめ券が一番早くやれる見通しとなっています。

現金給付についても検討したんですけれども、早くとも4月という見通しとなっていますので、市としては一日も早く市民のみなさんに渡すための手段として、おこめ券の配布をさせていただくことにしました。

おこめ券については、資料の方を見てもらえば分かるのですが、2枚目に我孫子市内で使えるおこめ券です。ここに書いてあるように、おこめ券でおこめとセットなら他のものと一緒に買っても良いよというお店が上の方に並んでいます。下の方6番以降については、ウエルシアとかですね、お米じゃなくても良いよというところが、これだけ市内で買えるお店がありますので、そうすると、いちいち商品券を今から印刷にまわすよりも、早く支給できるという方法になりますので、ぜひこの方法で一日も早く支給をしたいというふうに思っています。

ちなみに直売所は今、おこめ券が使えないんですけれども、早急におこめ券がつかえるように手配をして、おこめ券プラス野菜も一緒に、マッシュルームイチバンも一緒に買えるように、早急に手配をしていますので、これプラスアルファ、うちの直売所も入るというふうに理解をしていただければなというふうに思っています。

それともう一点は、物価高対応子育て応援手当支給事業、これについては、ご存じのように、我孫子市は全く関係なしで、市を通してスルーするだけです。

国の施策として物価高の影響が長期化し、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援するため、令和7年9月30日時点で住民登録がある高校生相当年齢以下の子どもを養育する世帯に対し、子ども一人について20,000円を支給するものという状態です。

これ対象者は17,500人、これを見込んでいます。事業費については事務費を含めた総額が、約3億5,500万円を見込んでいて、全額国の補助金が充当される中身になります。

この給付については、児童手当の受給者に対しては、プッシュ式で来年の1月に給付を予定させていただきます。児童手当の情報がない方については、申請というかたちで来年の3月末までというかたちで申請期間を作らせてもらおうと思っています。

一応、あとは、先ほどの一人3,000円については、今年の9月1日現在の住民登録をされている市民を設定する予定にさせていただいております。以上です。

○委員長（甲斐俊光君） 以上で説明は終わりました。

追加議案について何かございますでしょうか。

○委員（船橋優君） 国だとおこめ券は、ずいぶん時間がかかるとかってやってましたけど、現金

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

の方がどうのこうのと、そういうあれじゃないんですか。

○市長（星野順一郎君） 我孫子市からすると、今おこめ券の方は、J Aが発行しているやつと、米販組合、全米販が発行しているものと2種類あるんですけども、全米販の方が、早くいけるんじゃないかというふうに考えています。ただ、今ご指摘のあった、9月末までの期限になっておりますから、9月末までの有効期限を印刷しようとしたときにどのくらいかかるかというのが、ちょっとまだ微妙なところがあります。ただ少なくとも、現金だと早くなっても4月。まだ全く手配も見積も取れていないので、すべてこれから、今からだと年明けからのスタートになってしまいますので、確実に4月以降になってしまうというのが見えています。ただ、おこめ券については、今月から印刷を始めると聞いていますので、これが一番早いというふうに今ふんでいます。あちらこちらの市町村、おこめ券やらないって聞いてるから、だからおこめ券の方がいけるかなと思っております。

○委員（内田美恵子君） もうこれ市の方向性は、おこめ券ということで決まりってということですか。

○市長（星野順一郎君） いや、もしここで、現金の方が良いよというのであれば、そうすると、4月以降になることを前提にみていただけるのであれば、変えても良いんですが。我々も執行部も現金給付だとか、P a y P a yとかいろいろと検討してみたんだけど、どうしても一番早くやれる方法となると、今考えられるのがおこめ券。P a y P a yなんかだと、この前もあったように、前回はP a y P a yやったときに、高齢者が、我々使うにはどうしたら良いのか、という声があると、P a y P a yプラス現金給付、あるいは商品券、こういうのならかかってしまって、結局また同じ混乱を起こしてしまうので。これ、今の時期だから一番困ってて、これから新年度予算やっていくときに、3月議会を含めると、うちの職員が動けません。なるべくうちの職員が動かなくてすむ方法としておこめ券を選択をさせていただきました。

○委員長（甲斐俊光君） 暫時休憩いたします。

午後4時12分休憩

---

午後4時17分開議

○委員長（甲斐俊光君） 再開いたします。

○委員（深井優也君） 2月に予定となっているんですけども、その中で、直売所の方を今早急にというお話が今あったんですが、それ2月に間に合うっていう想定ですか。

○市長（星野順一郎君） J Aのやつじゃなくて、全米販の方だったら間に合う。

○委員（内田美恵子君） 今の深井委員のご意見で、間に合うのかっていうところで、全米販のそのおこめ券を取り扱うのですか。それだったら間に合うということですか、直売所では。

## 【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○副市長（渡辺健成君） おこめ券で一番課題なのは、国の方が指示してこれから印刷するので、それが恐らく1月には来るだろうという前提で今考えています。この全米販と全農は別々なので、ここにも書いてありますように、全米販の方が取り扱いがOKなところ、全農が取り扱いがOKなところがあるんですけれども、聞くところによると、全米販の方が追加で申請した際に、使えるようになるのが早い。全農の方は、恐らくいろいろな条件があるので、条件を満たさない限り使えるようにならないということなので、市とすればどちらかを選択するしかありません。おこめ券としても。これ両方というわけじゃなくて。ですから全米販を選んだら全米販の方だけで、いろんなかたちで市民の方に周知して、それでお使いいただくかたちになりますので、やっぱりいろいろなことを考えて、さっき言ったその、直売所の方が使えるようになるかとか、あとは市民の方の利便性を考えて、どちらかを選択というのは、これから考えるんですけれども、まだどちらかにするとは決定したわけではないんですけれども、今考えているのは全米販の方が融通性が利くんじゃないかというふうには考えています。

○委員長（甲斐俊光君） 暫時休憩いたします。

午後4時19分休憩

---

午後4時21分開議

○委員長（甲斐俊光君） 再開いたします。

他に何かございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（甲斐俊光君） ないものと認めます。

次にその他で何かございますか。

○事務局長（佐野哲也君） 今の市長のお話で、追加議案の上程がもし19日にされとなりますと、当然予算審査特別委員会を開きますけれども、その前に、上程して、議案大綱質疑なんですけれども、前日の午後5時となっておりまして、18日の午後5時まで。

となりますと17日に決定されても、時間がないんですが、そこだけちょっとご了承いただいて、もしある場合は18日の午後5時までに出していただきたいというお願いです。よろしくお願いいたします。

○市長（星野順一郎君） でもできればそれだったら、大綱質疑じゃなくて委員外発言にしてほしい、これだけは。多分いろいろとあると思います。現金の方が良いとかね、考えもいろいろあると思うんだけど、実際に遅れて良いんだったら十分できます。

○委員長（甲斐俊光君） まあまあ、議会全員でそろえばね。

○市長（星野順一郎君） 現段階で考えられる早い方法を、今一本化して今日説明をさせてもらって

**【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。**

いるんで、極端に言ったら、19日に修正かけて流しちゃえば、あとで1月以降に臨時会をやって、遅れれば遅れるほど、支給がそのまま全部遅れるというスタンスなんで。ただね、他の町が2月3月に配られて、うちが5月になってもまだ配られないよと言われてもそれはしょうがない。決めたことだから。

○委員長（甲斐俊光君） 他にありますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（甲斐俊光君） ないものと認めます。

以上で本委員会を散会いたします。

午後4時23分散会